

医療連携研修会2013において、地域連携の現状について 講演をしました

平成26年3月15日（土）午後3時から、新潟グランドホテルにて開催された「医療連携研修会2013」において、当センターの責任者である新潟大学大学院医歯学総合研究科総合地域医療学講座特任教授 井口先生が「地域連携の現状と次世代医療人」と題して講演を行いました。

医療連携研修会は、連携医療機関の医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員など多職種の共通理解のもと医療連携を進めていこうといった趣旨から、年1回開催されている研修会で、今回は特別講演としてお招きいただき、講演をさせていただきました。

現在憂慮されている2025年問題について、高齢者の独り暮らし世帯が増えるにすぎない、地域でのソーシャルキャピタルの高さが重要になってきていること。また、医学教育では地域医療の学習熱が高まっていること、その地域医療実習では多職種連携の重要性も同時に学んでいること、他の領域別専門医や多職種と連携して多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することを期待される「総合診療専門医」が基本領域の専門医として認定されることにより、より一層当センターの事業が担う「次世代医療人」の養成が重要である、といった内容でした。

◆この講演については、当ホームページの「ビデオライブラリー」にて後日動画配信をする予定です。

